

名古屋公演(2016・11・29 電気文化会館)を終えて

皆様に心より感謝申し上げます。

“お客様のご感想から”

「これまで私が当館で開館以来聴いた数十のチェロリサイタル(外来を含む)の中で、当夜の井手元の響きの豊かさ音色が、私の耳では群を抜いていました。素晴らしい音でした。」

(CBC 放送の音楽事業トップを50年務められた佐久間一彌氏)

「すばらしいコンサートにお招きいただきありがとうございました。ホールに鳴り響いていた音は私の心をわしづかみにして別世界に連れて行ってくれました。シューマンの楽譜の意味をえぐるような表現は、他のどこにでもあるものでなく、シューマンの心？それとも井手元の心が直接明確に伝わって来ました。この様なシューマンをオーケストラと共に聴いてみたいなと思いました。バッハは安定した表現が舞曲の楽しさがしり上がりに力強く伝達されとても心地よい時間でした。また機会がありましたら、ぜひすばらしい時間をすごさせて下さい。」

(ピオラ即興演奏奏者大竹徹氏(奈良在住)お礼状12月1日付)

「井手元らしい力強い演奏、特にシューマンのチェロ協奏曲には圧巻の演奏を感じました。」(チェロ奏者 T 氏)

「井手元の楽器が低音から高音まで凄く鳴っていました。また力強い音楽が聴けて、私もまた頑張っに行こうと思います。」(ピオラ奏者 Y 氏)

「今、余韻に浸りながら、新幹線で横浜に戻っているところです。最後列に座っていました。チェロが本当に良く響いていました！チェロの平均律クラヴィーア曲集第一番前奏曲は世界で井手元さんだけしか弾けない貴重な世界ですね。シューマンの協奏曲は井手元さんの語り口による日本的な魅力を感じました。独自の個性的なバッハに思わず引き込まれてしまいました。素晴らしい音楽の空間を堪能させていただきました。ありがとうございました。」(T.A.さん)

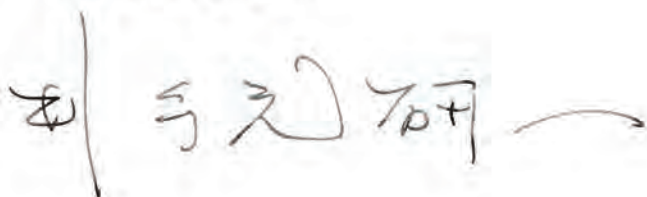
「兄弟揃って出掛けた、初めての演奏会でした。ピアノとのコラボが最高でした。アンコールも素晴らしかった。素晴らしい演奏を素晴らしい音響で聴けて最高でした。」(M ご兄弟)

「大いに幸せを感じるひと時でした。響きの迫ってくる力、音の強弱に感激でした。音楽の深さを教えていただいています。」(A さん)

共演、ご協力いただいたピアニスト山内敦子さんにも感謝します。

2018 年秋、オーケストラとの協演を「井手元研一・シューマンとドヴォルザークチェロ協奏曲の夕べ」(古希記念)として、名古屋で予定しています。皆様のご声援、よろしくお願い致します！

2016年12月吉日



“鹿児島公演(2017・1・22 県民ホール)を終えて”

故郷で、響きの良い県民ホールで、皆様と一緒できた事は、何よりの喜びです。

公演に先立って、KTSテレビ1月19日の「かごニュー」に生出演させて頂き、18日に帰鹿22日迄5日間の滞在でした。MBCラジオでも二回告知放送頂きました。心より感謝致します。初めての一人でのテレビ生出演は、素敵なスタッフと楽しくお話、演奏させていただきました。

演奏会当夕は、幸い特にシューマンのチェロ協奏曲に付いて終演後会場で、多くの皆様から感激感動されたとお言葉を頂きました。この曲のディスク(井手元の演奏の)が是非欲しいというお声を当夜、お二人から頂きました。共演のピアニスト山内敦子さんにも感謝します。

空よりも高く、海よりも深い空間にわが魂が放たれたようなひとときでした！！

シューマンチェロ協奏曲に感涙、心から感謝いたします。(柘中房子様)

「今日は昨日よりもより豊かでより深い音を」と、楽器を響かす為に既成の演奏技術をも見直し、独自に、今日まで高めてきました。

2018年秋、名古屋でのオーケストラとの「井手元研一・シューマンとドヴォルザーク・チェロ協奏曲の夕べ」(古希記念)公演を予定しています。

皆様のご声援、宜しくお願いいたします！

2017年1月吉日

